

バ国防ノ安固ヲ害スルコトナク国民負担ノ軽減ヲ期スルコトガ出来ルノデアリマシテ同時ニ世界平和ノ保障ハ一層強固ヲ加フル次第デアリマス帝國政府ガ今回ノ倫敦海軍會議ニ際シテ単ニ海軍軍備ノ制限ニ止マラズ進ンデ之ガ縮少ノ実現ヲ主張スル所以ハ実ニ茲ニ存スルノデアリマス帝國政府ハ右述ブルガ如キ方針ヲ以テ倫敦海軍會議ニ臨ミ其ノ成功ノ為最善ノ努力ヲ為スノ決心ヲ有スル次第デアリマス（在英大使ヘハ）全權ヘ転報シ仏伊ヘ転電アリ度

296 昭和5年1月22日 幣原外務大臣より  
ロンドン軍縮會議全權宛（電報）

#### 軍縮問題に関する議会情報について

本省 1月22日後1時50分發

#### 第二〇号

廿一日休会明ケノ衆議院ニ於テ犬養毅ヨリ「七割ノ比率ハ我国防ノ最小限度ニシテ全權モ従来度々之ヲ明瞭ニ公言シ

居ルトコロ政府ハ最後迄右主張ヲ固執スルヤ又比率適用ノ艦種ハ何ソヤ」ノ質問アリタルニ対シ首相ハ「ロンドン會議ニ臨ム帝國ノ態度ハ国防ノ安固即チ他ヲ脅威セス他ヨリ脅威セラレサル最小限度ノ海軍力保有ヲ期スルニアリテ各國ハ右帝國ノ合理的要求ヲ諒トスルニ至ルヘキヲ確信ス比率ニ付テハ茲ニ明言セストモ自分ノ演説ニテ国民一般ノ支援ヲ得ルニ十分ナリ」ト答ヘタリ

尚ホ政友会ヨリ「衆議院ハ倫敦會議ニ於ケル政府ノ主張ハ国民一致ノ要望ナリト認ム」トノ決議案提出セラレ開會劈頭之カ上程方ヲ計リタルモ民政党及政府ノ反対アリテ右ハ日程ニ上ラサリキ

尚又衆議院ハ右犬養一人ノ質問ニテ解散トナリ総選挙ハ二月廿日施行ノ旨發表セラル

米、仏、伊ニ転電アリタシ

## 日本外交文書 一九三〇年ロンドン海軍會議 上 終

日本外交文書

一九三〇年上  
ロンドン海軍會議

不許複製

Documents on  
Japanese Foreign Policy.

Documents on  
the London Naval Conference  
of 1930  
Volume I

昭和五十八年九月二十日 印刷  
昭和五十八年九月三十日 發行

外務省編纂

外務省發行

印刷所 ヨシダ印刷 両国工場  
東京都墨田区亀沢三二〇一四